

時 間 午後2時00分～
会 場 第3・4委員会室

市長記者会見資料

【報道発表資料】

- ① 八王子市芸術文化会館「いちようホール」が
7月1日にリニューアルオープン
- ② スリーボンドスタジアム八王子スコアボード改修プロジェクトを実施
～八王子市初のクラウドファンディングを活用～
- ③ 都内初！技術系職員の確保に向け「インターン採用枠」を導入
- ④ 文化庁「日本遺産サポーター大学」に関東で初めて帝京大学が登録
～産学官連携による日本遺産の推進～
- ⑤ シティプロモーション基本戦略を新たに策定
～八王子をもっと「あなたのみちをあるけるまち。」にするために～

八王子市芸術文化会館「いちょうホール」が 7月1日にリニューアルオープン

令和5年（2023年）11月から、大規模改修工事のため休館している八王子市芸術文化会館（いちょうホール）の工事が完了し、7月1日にリニューアルオープンします。

1 イベント概要

① 日時 7月1日（火）午後2～3時 内覧会 ロビー集合

② 日時 7月2日（水）午前10時～ 無料

ア 展示など

内容：記念展示や茶会などを実施（茶会、煎茶会は午後1時から）

時間：午前10時～午後5時

会場：第1・2展示室、多目的室、第1茶室

イ ロビーコンサート

時間：午前11時45分～12時45分

会場：ロビー

ウ 記念式典

第1部：オープニングセレモニー

内容：テープカット、車人形による舞台清めなど

時間：午後1時～1時30分

会場：大ホール

第2部：八王子文化連盟によるこけら落とし公演

出演：中之島流大正琴、八王子洋舞連盟など

時間：午後2～4時

会場：大ホール

次ページあり

2 改修概要

- (1) 大ホール（802席⇒800席）
 - ア 天井の改修に伴うスピーカーの更新
 - イ 客席の布地張替え
- (2) 小ホール（288席⇒282席）
 - ア ホワイエにエレベータを新設
 - イ 客席の更新（座面拡幅、可動床の固定化）
- (3) エントランス
 - ア レイアウトの見直し（受付の位置変更、ロビーコンサートスペースの拡充）
 - イ 多目的室の新設（旧レストランスペースを新たな貸出スペースに改修）
- (4) その他
 - ア トイレの全洋式化、多目的トイレの増設
 - イ 電気設備、機械設備の更新、車寄せの設置



▲新しくなった大ホール

※ 改修工事費 46億3,800万円

3 今後のスケジュール

リニューアルオープン記念事業一覧

日時	催し物
7月20日	MYSTERY NIGHT TOUR 2025 稲川淳二の怪談ナイト
7月26日	市民参加オペラ チッタディーノオペラ振興会 八王子公演 ヴェルディ「椿姫」
7月27日	石橋朋子ソプラノコンサート with スペシャルゲスト ダイヤモンド☆ユカイ まばゆい午後 煌めく未来へ 愛の歌
8月9日	八王子子どもミュージカル 第20回記念公演 「なんなんとうに雪がふる」
10～11月	第75回八王子市民文化祭
11月15日	世良公則アコースティックソロライブ 2025 進む hotobashiru ～生きるチカラが此処にある～
12月21日	小林愛実ピアノリサイタル

参考写真



車寄せ（建設北側）



インフォメーション(受付)



多目的室



大ホールホワイエ



大ホール



学生のアイデアを活かしたベンチ



小ホール



新設したエレベータ(小ホールホワイエ)



露地(茶室入口)

※学生のアイデアを活かしたベンチを設置

入口付近に設置したベンチは、サレジオ工業高等専門学校の学生がデザインを提案。
作品名は「つつみこむ」です。

取材案内

八 王 子 市
市 民 活 動 推 進 部
令和7年(2025年)6月2日(月)

リニューアルオープンイベント「記念式典プログラム」の取材について

このたび、リニューアルオープンイベント「記念式典プログラム」を開催しますので、お知らせします。

記

1 日時

令和7年(2025年)7月1・2日

2 会場

八王子市芸術文化会館「いちようホール」
(八王子市東京都八王子市本町24番1号)

3 取材について

- (1) 取材を希望される場合は、別紙1「取材申込方法」により6月27日(金)正午までにお申し込みください。当日現地での受付も可能とします。
- (2) ムービーカメラは1系列局につき1台まで、スチールカメラは1社につき1台までとさせていただきます。
- (3) 当日は、自社腕章を着用し、職員の指示に従っていただくようお願いいたします。

【問合せ先】

市民活動推進部学園都市文化課長 南部 電話 042-620-7409

取材申込方法

取材を希望される場合は、下記のメールアドレス宛に、以下の記載事項を御記載のうえ、メールにてお申し込みください。

■ 宛 先 市民活動推進部学園都市文化課
b050800@city.hachioji.tokyo.jp

■ 件 名

メールの件名は、次のとおり記載してください。

【○月○日リニューアルオープンイベント取材申込】 ○○○○（貴社名）

■ 記載事項

- 1 貴社名
- 2 取材担当者名
- 3 連絡先（当日連絡が取れる方の氏名、電話番号、メールアドレス）
- 4 取材人数（ペン：○人 ムービー：○人 スチール：○人）

※ 代表者連絡先につきましては、予定が変更になった場合など、連絡をお入れしますので、当日連絡が取れる連絡先をご記入願います。

※ 取材及び撮影は必要最小限の人数でお願いします。

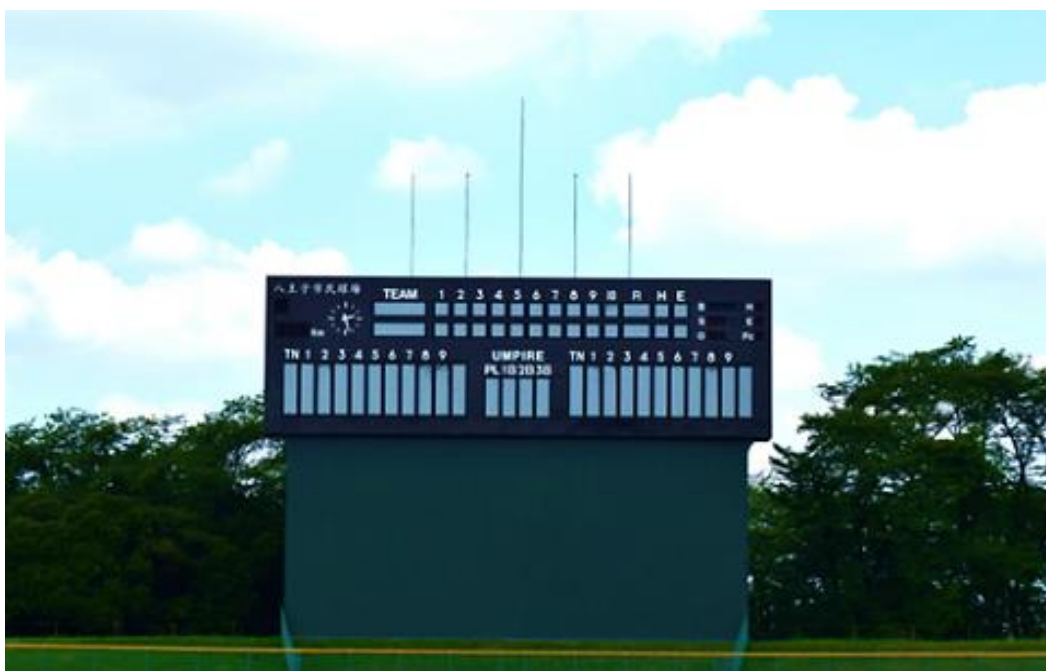
※ 本件取材以外には使用しません。

■ 申込期限

6月27日（金）正午まで

スリーボンDstadium八王子 スコアボード改修プロジェクトを実施 ～八王子市初のクラウドファンディングを活用～

八王子市では、「未来へつなぐ！スリーボンDstadium八王子スコアボード改修プロジェクト」として、全国高等学校野球選手権大会西東京大会など、多くの試合の舞台となってきた歴史ある硬式野球場を、次代を担う子どもたちにつないでいくため、本市で初の試みとなるクラウドファンディングを実施し、皆さんから寄附金を募ります。



▲現在のスリーボンDstadium八王子のスコアボード

1 プロジェクト名

『未来へつなぐ！スリーボンDstadium八王子スコアボード改修プロジェクト』

2 総事業費及び目標金額

- (1) 総事業費 1億9,800万円（予定）
- (2) 目標金額 1,000万円（クラウドファンディングによる）

3 寄附募集期間

令和7年（2025年）7月 1日（火） 午前10時から
令和7年（2025年）9月28日（日） 午後11時59分まで

次ページあり

4 寄附受付方法（インターネット・書面の2通りから選択）

■インターネット上のポータルサイト『ふるさとチョイス』のガバメントクラウドファンディング専用ページ <https://www.furusato-tax.jp/gcf/3862> より受付

■寄附申込書に必要事項を記載の上、広報プロモーション課へ郵送

5 寄附の形式（返礼品なし）

本クラウドファンディングは、ふるさと納税の仕組みを活用して行うものです。寄附金の使い道を指定して広く賛同を呼びかけるものとなるため、返礼品は設けておりません。市内にお住まいの方、市外にお住まいの方のいずれも寄附していただくことができます。

6 プロジェクトの背景（現状・課題）

スリーボンドスタジアム八王子の愛称で親しまれる富士森公園野球場は、1956年の開場以降、多くの試合の舞台となった歴史ある硬式野球場です。2009年に設置した現行の磁気反転式スコアボードには、数年前から、老朽化や降雨等による湿気が原因とみられる不具合が生じています。今後、予備の部品交換によって対処できない故障が発生した場合、施設が長期休場となる恐れがあります。「スポーツをする場の整備・機会の確保」の観点からも、早期の改修が望まれます。

7 寄附金の使い道

寄附金は、『富士森公園野球場スコアボード改修工事』の費用として既存の磁気反転式スコアボードを、視認性に優れたフルカラーLEDによる画面ディスプレイ表示方式に改修するための費用の一部に充当するものです。あわせて企業版ふるさと納税等の枠組みも活用しながら、広く支援を呼びかけます。

目標金額を達成しなかった場合や上回った場合でも、寄附金は本事業の実施経費として活用します。なお、寄附金が目標金額を達成しなかった場合は、市のスポーツ事業全体を精査して、プロジェクトを進めていきます。



▲完成イメージ（写真は上柚木公園野球場）

8 事業実施スケジュール

『富士森公園野球場スコアボード改修工事』は令和7年度しゅん工予定です。

工事着工 令和7年12月（予定）

しゅん工 令和8年3月（予定）

都内初！技術系職員の確保に向け 「インターンシップ採用枠」を導入

八王子市職員採用試験において、都内初の試みとして、「インターンシップ採用枠」を導入します。

選考過程においてインターンシップを実施することにより、受験者が公務への理解を深め、就職意欲を向上させるとともに、採用後の仕事のイメージをもって入庁することで、雇用のミスマッチを防ぎ、人財の確保と定着を図ります。

1 採用試験概要

(1) 受験資格

次の①と②の要件をいずれも満たす方

- ① 令和7年度、令和8年度に大学等を卒業する方
- ② 本市の技術系職員として働きたいという意欲がある方

(2) 募集する職種・人数

土木・建築・機械・電気

※ 募集人数は土木5名程度、建築5名程度、機械・電気あわせて5名程度

(3) 試験の流れ

- ① 第1次試験（7月上旬～） 「書類審査」「口述試験」
- ② インターンシップ（7月下旬～9月下旬） 技術系職場で実施
- ③ 第2次試験（9月下旬～） 「インターンシップ実施結果についてのプレゼン・口述試験」「教養試験」「適性検査」

(4) 申込

6月9日から市のホームページで募集要項を公開

申込期間：6月9日から6月25日まで

2 インターンシップ概要

- (1) 実施日数：5日間
- (2) 実施時期：7月下旬から9月下旬の間で、受験者と相談の上決定
- (3) 実施部署：技術系職員が主に勤務している部署

文化庁「日本遺産サポーター大学」に 関東で初めて帝京大学が登録 ～産学官連携による日本遺産の推進～

1. 日本遺産サポーター登録制度

日本遺産認定地域の協議会と連携し、日本遺産に関する精力的・意欲的な活動を行う高等教育機関を、協議会の推薦により文化庁が「日本遺産サポーター大学」「日本遺産サポーター高専」「日本遺産サポーター専門学校」として登録するもの。令和6年度に創設。

2. 登録の経過

帝京大学（八王子市大塚）において、経済学部観光経営学科の授業の一環として、本市の日本遺産ストーリー「霊気満山 高尾山 ～人々の祈りが紡ぐ桑都物語～」を活用した取組を契機に、大学側と合意のうえ日本遺産「桑都物語」推進協議会が文化庁に申請し、令和7年（2025年）5月12日に関東で初めて（全国で8校目）登録された。

3. 取組内容

「桑都・八王子の持続可能な観光」に向けて、日本遺産ストーリーと地域の伝統産業の原点をなす「桑都・織物」への若年層の関心喚起を目的として、帝京大学、八王子織物工業組合及び日本遺産「桑都物語」推進協議会の連携により以下の取組を行った。

- (1) 若年層への関心喚起を目的とした「親子体験」のツールとして「桑都・八王子クイズスゴロク」「おやつ（桑の葉を使用したプリン）」を企画・開発。
- (2) 「体験型観光」のモニター体験として、伝統工芸士による手織り体験とともに、開発したツールを活用したイベント「桑都・八王子の織物とスゴロクで遊ぼう！」を、令和6年（2024年）8月18日に親子を対象に開催。

なお、帝京大学では、令和6年（2024年）12月に「日本観光研究学会全国大会」において、上記取組を学术论文「伝統産業への若年層への関心を惹き出す体験型観光の実践的手法の導出」として発表した。

次ページあり



日本遺産サポーター大学 登録証



▲桑都・八王子 クイズスゴロク



▲桑の葉を使用したプリン

4. 今後の取組について

サポーター大学とは引き続き「桑都物語」「織物」を活かした持続可能なまちづくりを目指し、若年層の「桑都・八王子」への関心と愛着を一層深めるとともに、デジタル技術を活用した「まち歩き観光」の魅力を生み出していく。

また、日本遺産を活用した取組について、他の大学とも連携を推進していく。

参考

文化庁「オフィシャルパートナーシッププログラム」

文化庁と企業等が相互に協力し、日本の文化・伝統の魅力を国内外に向けて発信し、日本遺産ストーリーの体験・体感につなげることで、日本の有形・無形の魅力ある文化資源への理解を深めるとともに、日本遺産地域の活性化につなげるためのパートナーシッププログラム。(現在57社が締結)

日本遺産「桑都物語推進協議会」では、オフィシャルパートナーや市内の民間企業をはじめ、産学官の連携による日本遺産の推進に取り組んでいます。

シティプロモーション基本戦略を新たに策定 ～八王子をもっと「あなたのみちをあるけるまち。」に～

このたび、市民の皆さんや、まちに関わる皆さんの八王子に対する愛着と誇りを高めていくことを目的とし、令和7年度（2025年度）から令和12年度（2030年度）までを実行期間とする「八王子市シティプロモーション基本戦略」（以下「基本戦略」という。）を新たに策定しました。

今後、基本戦略に基づき、市のブランドメッセージ「あなたのみちを、あるけるまち。八王子」を核とした都市ブランディングをさらに推進していきます。

- 1 基本戦略** 市のシティプロモーションの考え方や方向性を全庁で共有し、取り組んでいくための羅針盤となるものです。基本戦略では、シティプロモーション推進のポイントとして、「ターゲットは施策ごとに決定」「重点プロモーション事業を設定」「戦略的なメディアプロモーションを実施」「広報プロモーション活動ガイドラインと一体的に運用」していくことを掲げています。
- 2 めざす姿と目的** 八王子の魅力を磨き、発信することでイメージアップを図り、都市ブランドの価値やまちへの愛着を向上させることで、地域の持続的な発展をめざします。
- 3 今後の展開** 市の魅力発信や都市ブランドの価値の向上に向けたシティプロモーションを戦略的に推進していきます。シティプロモーションサイトの充実を図るとともに、市の魅力を発信する動画を八王子市公式 YouTube チャンネルで配信するなど、多くの方に八王子市の魅力を発信します。
- 4 その他** 基本戦略等は以下の二次元コードからご覧になれます。



基本戦略



市プロモーションサイト



市公式 YouTube